

松本歯科大学地域連携歯科学講座と歯科補綴学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	有床義歯咀嚼機能検査に関連する因子の後ろ向きコホート研究
[[[研究責任者	地域連携歯科学講座 富士 岳志
研究期間	2024年4月1日～2029年3月31日
研究の目的・概要	本研究では、入れ歯によってどれくらい噛めるか、下あごの動きがどうか変わるかの検査結果について、どういった要因が大きく関係しているかを調査することを目的としています。この研究により、より良く入れ歯の調整が出来るようになることが予測されます。
利用又は他機関に提供する情報	2024年4月～2029年3月までに松本歯科大学病院で義歯を製作された方の情報を利用します。 情報：氏名、性別、生年月日、疾病名、義歯装着暦（年数）、義歯装着暦（個数）、旧義歯の装着年数、グミ咀嚼の経験の有無、喫煙歴の有無
試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	問診後に、口腔内の状況、入れ歯の状態等の確認を行います。また、現在使用中の入れ歯と、新しく製作した入れ歯でグミを噛んでもらいどれくらい噛めているかの簡単な検査と、下あごの動きの検査をします。診療の一環として行いますので、新たに来院頂く必要はなく、また痛みを伴うこともありません。得られた情報をもとに、学術雑誌や学会などに公表する場合がありますが、研究対象者に経済的な特別な利益は生じません。
試料・情報を利用する者の範囲	地域連携歯科学講座 富士岳志
問い合わせ先	松本歯科大学地域連携歯科学講座 講師 富士岳志 電話：0263-51-2117